

冬のスペシャルイベント Pick up!

お豆腐狂言、ご笑覧あれ!! 狂言を楽しむ ~茂山一門の世界~ [米子公演]

1月20日(金) 開場/18:30 開演/19:00

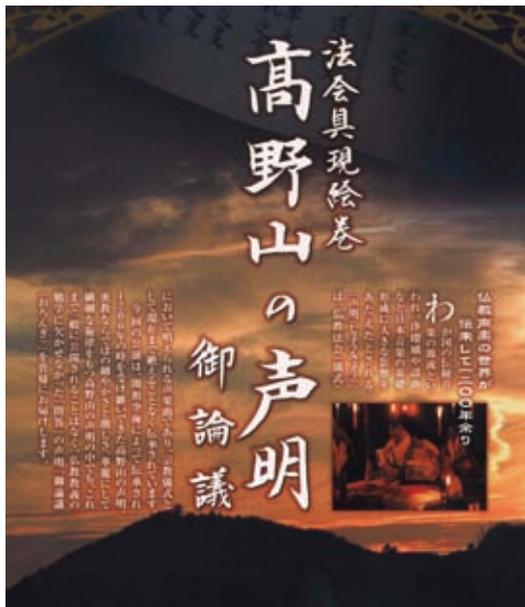
米子市公会堂(米子市角盤町) ※終演予定21時



今年も茂山家が新春の初笑いをみなさまにお届けいたします。人気の曲目「棒縛(ぼうしばり)」をはじめ、面(おもて)をつけた蟹の精が登場する「蟹山伏(かにやまぶし)」、下克上の世界観を滑稽に表現した「二人大名(ふたりだいみょう)」など、どの曲目も見どころ満載です!

- 料金/指定席券[1階・2階]3,000円(2,500円) 自由席券[3階]2,000円 大学生以下券[指定席・自由席]1,000円 ※ ()内は、財団友の会会員・団体10名以上料金 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。 無料託児サービス有り(要予約・締切1/13)
- チケットは各プレイガイド
- 問い合わせ/鳥取県民文化会館 TEL.0857-21-8700 <http://www.torikenmin.jp/>

高野山の声明—御論議—



2月12日(日)

開場/15:30 開演/16:00

(鳥根県民会館大ホール)

「声明(しょうみょう)」は、仏教の儀式において唱えられる声楽曲で、浄瑠璃や謡曲など日本の伝統音楽の原点とも言われ、西洋のゴスペルと並んで世界に類を得ない独特の音楽として大きく脚光を浴びています。1200年前に空海により伝承された高野山の声明。今回は、高野山の声明の中でも、これまで一般に公開されることのなかった「問答」の声明「御論議(おろんぎ)」を特別に公演。(東京と松江のみ)華麗で繊細な旋律、数十名の男性ヴォイスの迫力、所作の美しさは、深い感動を与え、魂を揺さぶります。



- 料金/指定席3,800円・自由席2,000円・学生券1,000円 ※未就学児(6歳未満)の方のご入場はご遠慮ください。 ※無料託児サービスをご希望の方は、2006年2/5(日)までにお申込みください。
- チケットは各プレイガイド
- 問い合わせ/鳥根県民会館文化情報コーナー TEL.0852-22-5556

初中日戦! 初土日デーゲーム! 生の迫力! 2006プロ野球セ・リーグ公式戦

広島東洋カープ 対 中日ドラゴンズ



開幕間もない4月、鯉の季節に昇り竜がやってくる!? ブラウン新監督を迎えた広島東洋カープ VS 山陰初登場の中日ドラゴンズ。米子市民球場の公式戦では初の土日のデーゲーム! 2年連続セ・リーグ公式戦が開催されるのも初! このチャンスにプロ野球の生の迫力!! 温泉に泊まって2連戦を堪能もGOOD!

4月22日(土) 23日(日)

デーゲーム(米子市民球場)

チケット発売の予定は、1月29日先行前売り、2月2日一般前売りの見込み。お得な団体券「外野こども団体券」「D指定席ドリンク付団体券」などBSSホームページで随時紹介予定。 <http://bss.jp/>

●入場料金

	前売券(当日券)
ネット裏指定席	5,000円(5,500)
内野指定席	4,500円(5,000)
内野自由席 大人	3,500円(4,000)
内野自由席 こども	2,000円(2,500)
外野自由席 大人	2,000円(2,500)
外野自由席 こども	1,000円(1,500)

※こどもは4歳から小学校6年生まで、身障者席(車椅子席)は、三塁側内野指定席と外野レフト側にございます。(BSS本社取扱)

- チケット販売所/山陰放送本社、鳥取、松江、出雲、西部支社、米子市観光協会(米子駅前サテ4階 平日のみ)、日ノ丸自動車、日ノ丸観光トラベル各営業所、山陰両県主要プレイガイド、スポーツ店、JR米子支社内の主な駅、ローソン各店(Lコード▶68911)

澤カルテット&ピアノ 弦楽のひびきコンサート

1月9日(祝) 開場/15:30 開演/16:00 (米子市文化ホール)



米子市出身の故鷺見三郎氏の功績を顕彰して開催されるコンサート。1990年に結成され、91年春のコンサートツアーでセンセーショナルなデビューを飾り、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの共演や欧州での演奏活動、近年ではCD化にも積極的に、高い評価を得ている「澤カルテット」。今回は米子市出身のピアニスト、中ノ森めぐみさんとの共演。新春にふさわしい、透き通るような響きをお楽しみください。

- 入場料/一般2,500円・高校生以下1,000円・親子ペア3,000円(当日各500円増し) 全席自由
- チケット取り扱い/米子市公会堂、米子市文化ホール他、市内各プレイガイド
- 問い合わせ/米子市文化ホール事業係 TEL/0859-35-4171

安来節演芸館

1月20日(金) オープン



ひょうきんなしぐさで「どじょう掬い」をする安来節の男踊り、実はかつての「砂鉄採取」の所作を取り込んだものだという説も。なるほど確かに…。でもそれならば「銭太鼓」は何に由来してるの? などという素朴な疑問も次々と…。その安来節の発祥の地に、「民謡・安来節」の殿堂、安来節演芸館が1月20日にオープン。桟敷席をイメージした233名収容のホールでは、安来節(唄と踊り)と、それにまつわるお芝居をそれぞれ1日4回公演。館内のお食事処では「どじょう汁」など、特産のどじょうを使った料理も楽しめます。まずは「話の種」に行ってみましょう!!

- ◆演芸館鑑賞券(安来節&芝居) 大人1800円(1500円) 小人900円(750円)
- ◆安来節鑑賞券 大人600円(500円) 小人300円(250円)
- ◆芝居鑑賞券 大人1200円(1000円) 小人600円(500円) ()内は8名以上の団体料金・小人は小中学生
- 場所/さざの湯温泉地内・足立美術館となり
- 営業時間/10:00~18:00
- 問い合わせ/安来節演芸館・開設準備室 TEL/0854-28-9500